

新潟県長岡市 小林 由佳（こばやし ゆか）

～ 創作体験を通して、こどもの地域への愛着を育てる ～



協力隊に応募したきっかけ

大学で建築を学んでいた中で、新しく建物をつくるだけでなく、既にある場所の魅力を引き出し、そこにいる人の関わり方を変えていくことに興味を持つようになりました。長岡にも、花火やお米、お酒、発酵食品などの特産品、各地の歴史的な文化、そして豊かな自然など、たくさんの良さがあります。その魅力を子どもたちと一緒に見つけ、かたちにしたものを展示する空間を通して発信していきたいと考え、応募しました。また、人とのつながりを大切にしながら、自己成長もしていきたいと考えました。

今後の抱負・任期後の目標

地域の方々とのつながりをつくりながら、長岡の魅力を子どもたちと一緒に見つけ、広げていく活動を進めていきたいと考えています。最終的には、長岡への愛着が広がる取り組みを目指します。任期後は、協力隊で得た経験を生かし、空間づくりや地域に関わる仕事に携わりたいと考えています。長岡で学んだ視点を社会の中でより広く実践していくことを目標としています。

活動内容

●いのコト寺子屋の運営

小学生と大学生の遊びの場「いのコト寺子屋」の運営を行っています。宿題のサポートや遊びを通して、子どもたちが大学生や仲間と繋がるきっかけをつくっています。子どもたちの「やってみたい」を大切にしながら、学びと成長を支える場づくりを目指しています。



●ワークショップの実施

「ベアアートをつくって、かざって、みてもらおう」というワークショップを行っています。子どもたちが自由にクマを装飾し、完成した作品を互尊文庫で展示します。来館者に見てもらうことで、子どもたち自身がまちと関わるきっかけにつながっています。



●小学校での授業

市内の小学校に訪問し、子どもたちと一緒に地域の魅力や身近な環境について考える授業を行っています。ワークや発表を通して、自分たちのまちへの興味を広げ、地域を見る視点を育てることを目指しています。子どもたちの気づきや感じたことを大切にしながら、地域愛着につながっていきます。



SNS等

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram)

https://www.instagram.com/kobatannn_?igsh=MW5jdmthM3drdjZz&utm_source=qr